

マレーシア・スタディートリップを実施

DPUB2は11月5日～13日にマレーシアスタディートリップを実施しました。マレーシア政府はJICAと連携し、障害分野における技術協力プロジェクトを2005～2015年に行い、様々な成果を上げています。その1つは援助付き雇用であり、プロジェクトが終わった今でもジョブコーチサービスが継続的に提供されています。DPUB2はマレーシアの経験を学ぶためにこのスタディートリップを実施しました。本研修には行政機関とNGOの代表、ジョブコーチトレーナー候補者、モンゴル商工会議所や企業など計20名が参加しました。



研修初日。社会保障局を訪問



イオン・マレーシアで働く聴覚障害者を視察する参加者

研修初日は女性・家族・地域 開発省社会福祉局を訪問し、政府が実施する障害者の就労支援制度、支援サービスについて講義を受けました。その後、民間企業で働く障害者、特に知的障害者の実例を視察し、企業の取り組みや、ジョブコーチサービスについて学びました。また、United Voices というNGOを訪問し、自閉症や知的障害者の福祉就労やセルフアドボカシーについて学びました。

最終日には、研修員が行政、企業、ジョブコーチトレーナーの三チームに分かれ、研修で学んだことをモンゴルでどう活かすかについて意見交換を交わし、それぞれ発表を行いました。DPUB2ではマレーシア学んだことを活かしジョブコーチ就労支援サービスの改善に取り組み、かつ企業連携についてフォローアップ・ミーティングを持つ予定である。



スタディートリップ最終日のグループディスカッション

✉ dpub.jica@gmail.com

📍 The Ministry of Labor and Social Protection, 4th khoroo, Chingeltei district, United Nation's street-5, Ulaanbaatar 15160, Mongolia

📘 <https://www.facebook.com/jicadpub1and2>

🌐 <https://www.jica.go.jp/project/english/mongolia/030/index.html>